

笠取山道迷い(2012年7月)

新地平から雁峠へ向かう林道で道を間違えて道ではない所も出てきたが強引に進む。尾根に出てから180度違う後方へ進んだが、道標で現在位置を知り事なきを得た。



解説

え！ここ入っていくの？でも踏み跡あるしな、、と思いながらぐいぐい進んでいきます。道に迷っている時はうっすら気付いていても、正しいと思い込もうとしてしまうのだろうな。

沢をがんがん登ります。鹿のフンは多いし、道は荒れているし、本当に一般ルートかよ、おい、なんて思いながら登ってました(この時はまだ合っていると思っている)

どんどん急登になってきます。けど、うっすら踏み跡はありました。ついに踏み跡がなくなりましたが、登りきればどこかの登山道には出るだろうと思っていたので、笹ヤブをかき分けてガンガン進んでいきます。ようやく登山道に出ました！！この時はなぜか雁峠の北側に出たと思っているので、南側に進んで雁峠分岐を目指します。(中略)この分岐で雁峠の北側どころか、まったく逆に進んでいることに気付く。(HP参照)

道迷いでは、「正しいと思い込む(努力)」、「登山道に出るだろう(願望)」、「ここは〇〇に違いない(根拠なし)」といった心理になることが多い。「努力」、「願望」、「根拠のない思い込み」がある場合、遭難リスクは非常に高くなる。今回の事例は遭難に至らなかったが、冷静さが失われ根拠のない行動をとっているの、自分も含め注意したい。